

1. 分類番号 ⑦その他

2. 演題 Dr.HEMODY と FileMaker を連携させた臨床工学技士(CE)業務支援システム構築の試み

3. 医療法人財団はまゆう会 新王子病院

○本田哲朗 大塚賢二 尾ノ上美樹夫 中山桂祐 満行温視 竹石和広 西島博満
箴島明彦

【背景】当院は機器設置台数 165 台、患者数約 340 名の透析施設であり、CE14 名でME 機器管理業務、血液浄化業務などを行っている。その中で患者情報を詳細に把握することは困難であり、さらなる医療の質・安全の向上が見込めないのが現状である。

【目的】グリーン情報システムズ社製透析医療補助システム Dr.HEMODY の情報を元に FileMaker を用いて臨床工学技士業務支援システムの構築を行い、業務の効率化また医療の質・安全の向上を図る。

【システム概要】患者情報（基本情報・透析条件・透析条件変更履歴・血液検査データ履歴・VA 写真管理・穿刺動画）、統計（基本情報に関する 4 項目・透析条件に関する 5 項目・血液検査に関する 2 項目・透析効率に関する 3 項目）、および患者指導記録を作成する。

【結果・考察】①VA 写真、穿刺動画を閲覧することによる穿刺ミスの軽減。②透析条件変更履歴を活用することで、安全な透析条件の提案。③経時的な血液検査データを確認することで透析条件の検討。④統計分析を活用することで、透析不足の患者を特定でき透析条件の検討。また他の研究をするうえでの情報収集。⑤患者指導を漏れなく実施、評価。などが可能になる事が期待できる。

【まとめ】Dr.HEMODY のデータを活用し自分たちに必要な部分を補う事で、透析業務の効率化、また把握しきれていなかった詳細な患者情報を得ることで安心安全かつ質の高い医療の提供が行えると考えられる。